

第163回 医療技術者研修会

医療・在宅現場における暴力・ハラスメントへの対応
～安心・安全で働き続けるために～

講師：三木 明子 先生

関西医科大学 看護学部・看護学研究科 教授

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

医療・在宅現場において暴力事件が発生しており、問題となっている。現場の職員は、迅速かつ適切に患者（利用者）・家族からの暴力・ハラスメントに対応することが求められる。そこで本講演では、職員が安心して良質な医療・ケアを提供することができるよう、患者等との良好な関係構築を前提に、職員を守るための組織としての考え方や必要な暴力・ハラスメントへの対応策について、概説する。

また、医療・在宅現場において、患者やその家族からの暴力・ハラスメント対策について学習できる動画教材、暴力・ハラスメント防止のための啓発ポスター、対策マニュアル、暴力の価値基準のワーク、暴力のKYT（危険予知訓練）を紹介する。これらを通して、職員が安心・安全で働き続けるために、医療・在宅現場において、どのように暴力・ハラスメントに対応するのかについて、提示していきたい。

【講師略歴】

東京大学医学部保健学科卒、東京大学大学院医学系研究科博士課程修了、博士（保健学）
現在、兵庫県委託事業の訪問看護師・訪問介護員安全確保・離職防止対策事業の検討会議委員、福岡県在宅医療現場における利用者等からの暴力・ハラスメント対策部会委員、日本在宅医療連合学会在宅医療・介護現場における暴力・ハラスメントに関するワーキンググループメンバー。

【関連著書】

1. 三木明子：ガマンしない、させない！院内暴力対策「これだけは」（日本医療マネジメント学会監修，坂本すが編，三木明子編著），メディカ出版，1-175，2017.
2. 三木明子：訪問看護・介護事業所 必携！暴力・ハラスメントの予防と対応—スタッフが安心・安全で働くために（三木明子監修・著，全国訪問看護事業協会，編著），メディカ出版，1-208，2019.
3. 三木明子：看護職員の惨事ストレスとケア—災害・暴力から心を守る—（松井豊編著），第1部 看護職員の日常的な惨事ストレス，朝倉書店，11-61，2020.

【所属学会等】

1. 日本産業精神保健学会 理事、編集委員、医療従事者の精神保健支援委員会委員
2. 日本産業看護学会 理事、研究編集委員長
3. 日本産業ストレス学会 理事、編集委員、産業看護職副委員長
4. 日本産業衛生学会代議員、産業保健看護専門家制度委員、医療従事者のための産業保健研究会世話人

【日時】2024年2月3日（土）午後2時00分～4時00分

【参加費】無料 【定員】100名（接続数）Webオンラインでの参加のみとなります

申し込み方法

1. 勤務先・職種・氏名（フリガナ）をまれなく記入のうえ、研修会の期日と開催回数を明記し、メール（seminar@byotai.or.jp）にてお申し込みください。（記入もれがある場合、返答できません。あらかじめご了承ください。）
2. 申込者へは順次、受講申込への返答をメールで送付いたします。
3. 勤務先ごとでまとめて、お申し込みください。同一施設で複数名申し込みの場合は施設視聴をお勧めします。

*定員到達後の申込者へは「締切済」通知をメールで送付します。先着順で締め切ります。あらかじめご了承ください。

注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、いただいた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては下記「医療技術者研修企画係」へご連絡をお願いいたします。

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町26-2 TEL:03-3956-4120

一般財団法人東京保健会 病体生理研究所 医療技術者研修企画係